

平成30(2018)年度函館市公共下水道事業報告書

1 概 況

(1) 総括事項

平成30年度の処理区域内人口は232,480人となり、前年度に比べ2,986人減少したが、下水道普及率（行政区域内人口に対する処理区域内人口の割合）は、前年度と同じ90.5%となった。

また、水洗化区域内戸数は136,516戸、水洗化済戸数は130,530戸となり、水洗化区域内戸数に対する水洗化済戸数の割合は95.6%となった。

事業収益については、使用水量の減少による下水道使用料の減少や他会計負担金の減少等により、前年度に比べ111,976,288円の収入減（1.5%減）となり、総額で7,492,940,786円となった。

事業費用については、委託料や減価償却費の増加等により、前年度に比べ5,029,715円の支出増（0.1%増）となり、総額で6,627,973,321円となった。

この結果、当年度の収支は、前年度に比べ117,006,003円減少し、864,967,465円の純利益を生じた。

建設改良事業については、下水管渠工事、湯川ポンプ場自動除塵機設備工事、南部下水終末処理場汚泥処理施設遠心脱水機設備工事等を予定どおり施行した。